

一般社団法人戸田市薬剤師会 議事録

記録日	H30.3.27
記録者	芹澤

日時	H30.3.27 13:00~15:00	出席者	染川、野口、武長、相良、伊藤、 佐貫、成塚、芹澤、宮下
場所	戸田市文化会館 302 会議室		

議 題

1. 戸田市役所 保険年金課 箱森 麻未様
2. 会長報告
3. 副会長・委員会報告
4. 各理事・委員会報告
5. その他

会議内容

1. 戸田市役所 保険年金課 箱森 麻未様
平成30年度 生活習慣病重症化予防対策事業について
埼玉県の行っている本事業に戸田市としても参加している。
糖尿病性腎症重症化予防対策事業の薬局モデルが示された。

●現状は薬局でのコーチング希望者も少なくマッチングの数も多くはないが、薬局にてフォローアップを行うことの意義も高く、地域包括ケアシステムの一翼を担う薬局としての役割として重要であり、薬剤師会としても協力体制を敷き会員薬局にも参加登録や研修参加を HP 等により呼び掛けていくことで全会一致。窓口は芹澤理事に。
2. 染川会長より

●3月末決算。次回理事会までに各委員会の今年度の事業報告、来期の事業計画、予算の作成を指示。

●河鍋暁斎、暁翠親子展が 4/1~6/24 の日程で八王子の東京富士美術館で開催されるとの事。

●「ankray」という検査会社より、説明会の依頼あり。1社だけに認めるわけにはいかないので、依頼自体は受けないこととする。
3. 副会長・委員会報告
武長副会長より

<学校薬剤師委員会報告>

- 戸田東小、美谷本小で5、6年対象の薬の授業を行った。
- 2/13 学校保健会がんについての講演会出席。チック病の子供の対応の話が別途あったとの事。
- 幼稚園の学校薬剤師については、今まで通り個別で対応。
- 新人3人（成塚理事、本町薬局三島木先生、なのはな薬局斉藤先生）。通年にわたり新人は募集していくとの事。
- 4月より戸田市においてもアレルギー児童対象給食（卵、乳製品、小麦、キウイ）をスタートさせる。川口市ですでおこなっている取り組みを踏襲する。2か月シュミレートして6月より本格稼働の予定とのこと。

野口副会長より

- 福祉政策審議会。来期も野口副会長が継続する。
- 理事会で検討するべき議案の提案ができる窓口をつくる必要がある。HPに窓口を作るべく広報委員会に依頼。
- 委員会の再編として、会議運営委員会と総務委員会を統合してはいかがか。異議なし。

<在宅委員会報告>

- 2/21 在宅委員会座談会実施。アンケートをとったところ、この流れを継続という声が多く次回からは参加をオープンにして開催する。
- HPに在宅の窓口を作ることを提案。会員からの窓口、他業種からの窓口をわけて作成できるか広報委員会に依頼。

4. 各理事委員会報告

伊藤理事より<総務委員会報告>

- 入会に関し問い合わせがあった事項について報告。管理薬剤師はA会員という大原則は県薬剤師会を踏襲しており、今後もこの大原則は順守することで全会一致。

芹澤理事より<会議運営委員会報告>

- 戸田市の上前地区民生委員会で時間を頂き、お薬の飲み方教室を薬剤師会として受けるかどうか提案。地域包括ケアシステムの構築において、薬剤師の外部への発信は大変重要である。今後も民生委員会ほか老人クラブなどでも積極的に行っていきたい。その際在宅委員会、薬学生実務実習委員会とも連携していきたい旨の発言あり。異議なし。

佐貫理事より<薬学生実務実習委員会報告>

- GW あけから実習開始。今後も薬剤師会の関わっている学生の参加事業について広く情報を集めて実施にこぎつけたい、とのこと。成塚理事よりスズケン物流センターについて、見学だけ

ではなく実際に作業を少し体験させて頂けるとの発言あり。要確認事項。

成塚理事より<広報委員会報告>

- 薬剤師会のロゴを作成し、会長に提出済。
- HP に作る窓口機能について、前向きに検討。

決定事項

- 戸田市の生活習慣病重症化予防対策について薬剤師会として窓口設置（芹澤理事）及び活動のフォローを行う。
- 学校薬剤師3名追加。今後も募集は継続。
- 管理薬剤師はA会員として薬剤師会に加入。
- 会議運営委員会と総務委員会を統合。

検討事項

- 会営薬局開設に向けて行政との継続交渉。
- 学校薬剤師委員会組織と規約、新人の発掘育成。
- 戸田中央総合病院薬剤科との薬薬連携の深化
- 蕨市薬剤師会との連携。
- 戸田市行政との連携。市民に見える活動。
- 実習生の参加できる薬剤師会事業
- デットストックの会員薬局間の取引
- HP への会員内外からのアクセス窓口の構築と運用